（別紙１）ルール等におけるチェックリスト

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | 配慮分野 | チェック内容 | チェック欄 |
| 主催者 | 環境配慮 | 参加者数は地域の特性等を踏まえ、適正な上限人数を検討する |  |
| 参加者が密集して走ることとなるスタート付近については、林道、農道等の自然環境への影響がないルートとする |  |
| 必要に応じ、適当な基数のトイレを適切な箇所に配置し、適切な管理（処理方法、撤去等）を行う |  |
| 開催地域外から植物が持ち込まれないよう、競技開始前には参加者及び応援者に靴底の洗浄をさせる |  |
| 必要に応じ、住宅街や希少野生動物の生息地を避けた応援ができる場所を設定する |  |
| 保全すべき重要な自然環境等にコース設定している場合は、必要に応じ監視員を配置する |  |
| 安全配慮 | 外的危険（落石、転落・滑落、）が予見される場所（急傾斜地、岩礫地など）、脆弱な地盤、滑りやすい粘土地盤、破損のおそれのある木道等がある区間はコースとして選定しない |  |
| 競技途中で事故等の緊急事態があった場合、速やかに対応できる体制を整えておく |  |
| 参加者、応援者及び一般利用者等に対する案内や誘導表示は、混乱を招かないよう既存の標識類と区分し、分かりやすい位置、表示内容となるよう配慮する |  |
| 歩道等管理者、土地所有者立ち合い等により事前に歩道の安全点検等を行う |  |
| その他 | 悪天候などにより、自然環境の保全上又は参加者の安全確保上の懸念が生じた場合は、速やかに中止等の判断ができるよう意思決定の体制を整えておく |  |
| 参加者、応援者に、大会運営上の自然環境及び安全への配慮事項を周知し、徹底させる |  |
| 大会実行関係者等は、腕章等により身分を明らかにしておく |  |
| 参加者には、ゼッケン等身分を明らかにするものを着用させる |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  | ウェブサイト、公共交通機関の運行に関連する掲示スペース、県立公園内外の主要な利用拠点、登山口等において大会の開催日時、コース区間、誘導標の設置状況及び一般利用者に留意してもらいたい事項等を記載し、大会開催の周知を行う |  |
| 大会の開催を周知するものについては、主催者の連絡先（問合せ先）を記載しておく |  |
| 主催者、参加者、施設設置者及び管理者の責任（事故発生時、他者への損害発生時）の範囲を明確化しておく |  |
| 事前調査を実施し、予め収集した大会の開催運営に必要な情報を基に、コース設定にあたる |  |
| 必要な許可等を大会開催１ヶ月前には済ませておく |  |
| 参加者、応援者を含む大会関係者に、トイレは所定の場所で済ませることを周知する |  |
| 参加者 | 全般 | 登山者等の一般利用者を尊重し、レース中においても配慮を心掛けること |  |
| 登山者等とすれ違ったり、追い抜いたりする場合は、丁寧な声掛け及び配慮を行うこと |  |
| 環境配慮 | 設定されたコース以外は走行しないこと |  |
| トイレは所定の場所で済ませること |  |
| ゴミは持ち帰るか、所定の場所に捨てること |  |
| ストックはキャップの付いた状態で使用し、使用を認められた区間のみで使用すること |  |
| 安全配慮 | 登山者等とすれ違う場合は、登山者等を優先させること |  |
| 集団走行、並列走行は行わないこと |  |
| 夜間に走行する場合は、反射板、ライト等を着用すること |  |
| その他 | ゼッケン等を身に着けておくこと |  |
| 応援者 | 全般 | 主催者が設けたルールを遵守すること |  |
| 環境配慮 | 登山者等の一般利用者を尊重し、レース中においても配慮を心掛けること |  |
| 歩道や園地など整備された場所以外に立ち入らないこと、特に自然植生のある場所に踏み込まないこと |  |
| トイレは所定の場所で済ませること |  |
| ゴミは必ず持ち帰ること |  |